

医療機器を取り扱う黒衣(くろこ)のプライド

臨床工学技士

藤井有美子(ふじいゆみこ)さん

医療、治療の分野では、様々な分野で最新の電子機器が使用されます。呼吸、循環機能などを代替、補助する生命維持管理装置をはじめとした医療機器の操作や点検管理をする専門職が臨床工学技士です。臨床工学士の藤井有美子さんがこの方面に進んだのは、

「子どもの頃からテレビやオーディオ等、電気製品の配線をするのが好きでした。そういうことが得意で興味がある女子もいるんですよ。」(藤井さん)

この仕事を選んだ理由は二つで、「好きなことを職業にしたい」ということと、「きちんとした資格・国家試験のあるもの」ということ。

その夢を叶えて10年、手術室や治療現場で各種最先端の機器を取り扱う専門家として、スタッフから頼りにされる存在に成長しているところです。

「患者さんと顔を直接あわせるのは透析ぐらいですが、医療の現場で医師や看護師さんに頼りにされるやりがいがあります。現場を支えるプロ意識で取り組んでいます。」(藤井さん)

歌舞伎でいうと役者を支える黒衣のような存在で、表には出ませんが舞台に欠かせない存在です。



「この方面は電子機器も多く、モデルチェンジや新機種開発のスピードがものすごく早い。手術室や治療部門によって取り扱う装置や機器が異なるので、それぞれに精通したうえで全般的なことを覚えておかないといけません。まだまだ勉強が欠かせません。」とのことでした。